

【今月の目次】

- 1.夏期研修会について
- 2.ICT 活用ワンポイント講座「基本に立ち返る！ファイルにパスワード」
- 3.コラム「着信番号は信用できる？」



1.夏期研修会について

ICT教育支援センターでは、夏期研修期間中に ICT や情報・教育データの利活用に関する12の研修を企画・運営しました。

7月31日、山梨大学教育学部准教授 三井一希先生をお迎えし、「ICT活用実践研究会Ⅰ『思考スキル』『思考ツール』の活用」が開催されました。参加希望者が募集人数を上回り、先生方の興味関心が高い研修であることを実感しました。三井先生には、「考える」ということに焦点をあて、「比較する」「分類する」「関連付ける」など授業の中の19種類の「考える」を紹介していただきました。また考え方を示し補助するためのツールについて「ベン図」「バタフライチャート」などの「思考ツール」を提示していただき、受講者がスライドなどを用いて体験しながらその活用方法について学ぶことができました。参加者からは、「思考スキルを鍛える必要性や、そのための手立て・具体的な実践例など盛りだくさんに教えていただくことができ、大変満足度の高い研修だった。」「一人一台端末が用意され、実際に自分で思考ツールを活用する場面が多く、2学期からの実践がイメージをしやすいものとなった。」といった声が聞かれました。

また、8月18日には、山梨大学教育学部准教授 稲垣俊介先生をお迎えし、「ICT活用実践研究会Ⅱ 校務等における生成AIの活用」を実施しました。定員50名のところ、100名を超える受講希望があり、生成AIへの関心の高さがうかがえました（受講希望に添えない方がおりましたこと、申し訳ありませんでした）。当日は、稲垣先生による講義に加え、実際に生成AIを操作しながらの演習や、異校種の先生方とのグループワークなど、体験的な活動が行われました。文書作成の支援にとどまらず、面接指導や小論文添削、国語の問題作成など、教育現場での具体的な活用場面にも触れながら、生成AIの可能性を実感する機会となりました。参加者からは、「実際に使ってみることで、すぐに校務や授業に活かせると感じた」、「生成AIがある前提で教育を考えるとという視点が印象的だった」、「校務の効率化だけでなく、児童の思考整理にも活用できそう」といった感想が寄せられました。

なお、ICT教育支援センターでは、生成AIなどICTに関する校内研修等の講師として、担当指導主事の派遣を受け付けており、ご要望に応じた研修の実施が可能です。校種を問わず随時募集をしておりますので、お気軽にお問合せください。



2.ICT 活用ワンポイント講座「基本に立ち返る！ファイルにパスワード」

機微情報を含むデータの取り扱いについて、万が一流出してしまったら・・・？そんな一抹の不安を取り除くためにも、フォルダにパスワードを付けることに加え、ファイルにもパスワードをつけ、教科や分掌で共有することをお勧めします。万が一の際の最後の砦となってくれます。

◆Microsoft アプリのパスワードを設定する方法（保存時に設定）

1. Word、Excel などのファイルを開く
2. 「ファイル」タブをクリック
3. 「情報」→「文書(excel ならブック)の保護」→「パスワードを使用して暗号化」を選択
4. パスワードを入力し、「OK」
5. 確認のためもう一度パスワードを入力し、「OK」
6. ファイルを保存

いかがでしょうか？データ漏えいのニュースが絶えない昨今、基本に立ち返りパスワード設定を丁寧に行いましょう。また、パスワードを付箋に書いて PC に貼るのは絶対にやめましょうね。

【バックナンバー(↓最後にリンク有↓)】

ypecICT 通信第 4 号（令和 6 年 9 月号）コラム「パスワードの使いまわしをしていませんか？」



3.コラム「着信番号は信用できる？」

スマホの着信履歴に、実在の警察署の電話番号や、末尾に「0 1 1 0」が付いた番号が出ていたことはありませんか？折り返し電話すると、警察を語った詐欺となる事例が多発しています。「スプーフィング」という手法で発信者番号を偽装し、「あなたの銀行口座が犯罪に不正利用されている」と言われ、うっかり信じると偽の警察官と通話し、口座の資金を移すよう命ぜられる、特殊詐欺の一例です。迷惑電話対策機能がある電話アプリでは、「〇〇警察署」と表示されるため、逆に信用してしまう危険性もあります。

生徒の ICT スキルが上がるにつれ、ICT に対するモラルやリテラシーがより重要になってきます。それは先生方も同じです。これまでの ypecICT 通信でもあるように、偽の企業や警察を語る電話にお気を付けください！

【バックナンバー（↓最後にリンク有↓）】

ypecICT 通信第 10 号（令和 7 年 4 月号）コラム「偽セキュリティ警告が表示されたときの対応」

ypecICT 通信第 11 号（令和 7 年 5 月号）コラム「URL をみれば詐欺サイトは見分けられる？」



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「2 要素認証」と「2 段階認証」

・2 要素認証とは、「キャッシュカード」と「暗証番号」、「スマートフォン」と「顔認証」など、物理的に持っているもの（所有）と、本人しか知らない情報（知識・生体情報）を組み合わせる本人確認を行う方法です。

・2段階認証とは、ログインや本人確認を2回に分けて行う方法です。最初に「パスワード」などを入力し、次に「確認コード」や「別の認証方法」で、もう一度本人かどうかを確認します。特に、スマートフォンに確認コードが送信される方法は、「スマホを持っているか」も確認できることで、2要素認証の仕組みも取り入れてセキュリティを強化しています。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508（直） /FAX:055-262-5572

お問い合わせは[こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは[こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492